



講演会「金平鉱山と十村石黒家」(小松市立博物館・2013.8.10)

# No.108 2013・9・25

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM

発行 石川県立歴史博物館

〒920-0963 金沢市出羽町3番1号

TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836

<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



# ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM

# れきはく

石川県立歴史博物館  
リニューアルオープン プレ企画展

## 大名行列が やってきた!

— 優品にみる加賀藩 —

第2弾  
in 七尾



平成25年 9月21日(土) ~ 10月27日(日) ※月曜日(祝日を除く) および9/24・10/15休館

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般350(280)円

会場 石川県七尾美術館 第2展示室

大高生280(220)円

主催 石川県立歴史博物館・七尾市・公益財団法人七尾美術館

※( )内は20名以上の団体料金  
中学生以下無料

能登国採魚図絵 天保9(1838)年 石川県指定文化財 より「鯨捕しめ引懸る図」

加賀藩大名行列図屏風(部分) 昭和初期(20世紀)

休館中の今年度は、リニューアルオープンに向けたプレ企画展を県内3か所で開催します。第2弾は石川県七尾美術館にて、小松展に引き続き加賀藩関連の優品と、開催地にちなみ能登の風景を描いた絵画資料や刷物などをご覧いただけます。

展覧会は、武具や大名行列図などを中心とした「太平の世と武士」、加賀藩の優れた美術工芸や科学技術について紹介する「華ひらく技と美」、そして「景勝とくらし」の3本の柱で構成されます。このうち「景勝とくらし」では、外浦の海岸風景と名所旧跡を描いた「能登名跡図」や、能登の漁業の様子を伝える「能登国採魚図絵」(原文) などをご紹介します。また、「加州金平鉱山図」(原文) の絵巻の末尾に描かれている「能州矢田村金山図」を今回特別に公開します。この図などから、七尾の矢田村ではかつて砂金が採れたと推測されていますが、その詳細は明らかになっておらず、謎の多い注目資料です。

小松展と同様、展覧会中いつでも参加できるクイズラリーや、土曜日・日曜日・祝日のみの週末ワークショップも開催します。リニューアルPRコーナーでは、今回のリニューアルの概要や見どころとともに、新しい「れきはく」のイメージ図を動画で公開しますので、ぜひこの機会にご覧ください。

### 関連イベント

#### 講演会 「前田利家と能登七尾」

講師：瀬戸 薫氏(富山高専門学校教授)

日時：10月5日(土) 14:00~15:30 ※開場は13:30

会場：石川県七尾美術館 アートホール

※聴講無料・事前申込不要(展示室観覧の場合は入館料が必要)

#### れきはく学芸員によるギャラリートーク

日時：10月19日(土) 14:00~15:00

会場：石川県七尾美術館 第2展示室

※要入館料・事前申込不要

#### 週末ワークショップ

①へんしんコーナー 甲冑やお姫さま衣装の体験

②からくりコーナー 実演をまじえ江戸時代のからくり人形についてレクチャー

日時：会期中の土曜日・日曜日・祝日 10:00~16:00

会場：石川県七尾美術館 第2展示室横休憩コーナー

※要入館料・事前申込不要

# 歴史博物館のリニューアルプラン紹介 ②

今回は前号でご紹介したりニユールの内容について、どこが変わるのか、少し具体的に紹介します。まずは展示ゾーンです。

## ◆ダイナミックな体感展示！

当館のこれまでの常設展示では、時代の古い順に資料が並べられ、来館者はガラスケース内にある解説文を読みながら鑑賞するというスタイルがとられていました。また、展示の中には小中学生や外国の方には理解しにくいという部分もやりました。リニユール後は、従来の資料展示の手法も生かしつつ、時代・分野ごとに核となるテーマをいくつか設け、来館者がダイナミックに歴史を体感し、親しみを持てるような展示に生まれ変わります。

【図1】江戸時代の参勤交代の展示イメージです。二千人規模の御供を連れて金沢と江戸を行き来した加賀藩の大名行列の歴史や参勤交代にまつわるエピソードを楽しく紹介します。加賀藩の参勤交代で最もよく使用された北国下街道ルートと平成二七年春に開業予定の北陸新幹線のルートはほぼ同じですので、金沢―東京間の移動時間が新幹線で約二時



【図1】参勤交代の展示（イメージ）

間三〇分の現代と、通常一二泊―三日で移動していた参勤交代の時代とのさまざまなギャップを体感していただけるようになっていきます。

【図2】加賀・能登を代表する壮大な祭りの世界を紹介するコーナーです。大迫力の三面スクリーンで、あたかも自分が祭りに参加しているような臨場感を味わっていただけます。

その他の時代でも来館者どうしの会話が弾むようなさまざまな工夫を盛り込みますので、どうぞご期待ください。

リニユールの基本コンセプト「新たな出会いと学びの場」のもと、フリーゾーンでも、楽しみなが



【図2】祭礼体感シアター（イメージ）



【図3】 建物紹介コーナー（イメージ）

ら石川の歴史や文化に触れることのできる空間を目指しています。また県民参加による展示活動、ボランティア活動など幅広い活動の場として活用する計画です。

◆建物の魅力をたっぷり

【図3】第二棟のエントランスには、当館の魅力の一つであるレンガ造りの建物の歴史や構造を紹介するコーナーが設けられます。ガラス越しに第三棟の赤レンガの建物を眺められるようになり、資料やパネル等その歴史を知ることができます。

◆ちびっ子たちも体験できる！



【図4】 歴史体験コーナー（イメージ）

歴史体験コーナーでは、これまでは時代ごとのメニュー編成で展開し、利用者は小中学生が中心でしたが、小さなお子さんでも、大人の方でも、みんな一緒にわいわい楽しめるような、親しみやすい博物館、親子そろって出かけられる博物館を目指しています。

【図4】おなじみの甲冑のような衣装ばかりではありません。企画展の内容に合わせて、ローテーション

ンを組んだりするなどして、随時模様替えもいたしますので、いろいろな時代の衣装体験を楽しむことができます。また、体験メニューの種類も豊富に揃えて更新していく予定ですので、いつ来ても楽しめる体験コーナーとして、さらにパワーアップします。

◆全面ガラス張りの開放的な空間

【図5】広い館内を歩きまわって疲れたら、外の建物や四季折々の草花を愛でながらほっと一息。全面ガラス張りの開放的な空間でゆったりとした時間を過ごしていただけます。



【図5】 ほっとサロン（イメージ）

資料紹介

「史料を読む」楽しめ

今年の夏は例年にならない酷暑でした。九月に入り、まだまだ暑さは続いています。朝晩は少しぶん凌ぎ易くなり、虫の声も日増しに大きくなってきています。さあ、こんな秋の夜長は歴史の勉強にはもってこいの時期です。そこで、古文書を使って歴史の裏を垣間見る練習をしてみましよう。

左の古文書は、そうめん十二箱の販売を委託された業者が、販売した売上代金の精算をし、売主に報告した資料です。

委託された業者は、「北國屋与次右衛門」とあり、その下の印には「赤間関(現・山口県下関市)」の文字が見えています。この取引が完了したのは六月二十四日で、当時の季節では、夏の終わりという頃です。そうめんの売主は「綿屋彦九郎」です。



ここから、少し情報を加えていきます。「綿屋彦九郎」は、放生津(現・富山県射水市)の豪商で、米仲買を務める一方、廻船問屋としても名を馳せた宮林家の当主です(そう、この古文書は大鑑コレクションに含まれた「宮林家文書」の一つ)。「神速丸船頭甚吉」などの表記はないので、廻船問屋主人の彦九郎に届けられた仕切書だとわかり

ます。加賀藩の歴史に詳しい人は、能登の輪島がそうめんの産地だったことを想起します。富山の廻船問屋の船が、輪島でそうめんを買い入れ西走、赤間関の北國屋さんを通じて売却した資料だ、と思いますね。

さて、ここからが楽しい推理のはじまりです。この舞台となっている日本海は、「北前船」が往来していたことで有名だから、「北前船」の関連資料だ、となります。ところが「北前船」は、「春四月頃に大坂を出て、松前(北海道)を往復し、秋十月頃に大坂へ帰る」と概観されています。となると、綿屋の船は、六月末に赤間関に居たので、「一般的な『北前船』ではない」ということとなります。この船が大坂を出帆し瀬戸内海を回って日本海へと向かっている船としたら、そうめんは大和の三輪そうめんや、阿波の半田そうめん、播州の塩保そうめんなど、関西圏のそうめんであった可能性が高くなってきます。「そうめん十二箱」ところに、「輪島そうめん」とか「三輪そうめん」とあったり、「六月」が「四月(早い時期なので、富山↓赤間関の可能性は低い)」とか「九月(この後に日本海を北上していく可能性も低い)」であれば、船の航路も想定しやすいのですが、「六月」というのは迷いますね。日本海を往來する船は、「大坂↓松前↓大坂」ばかりではなく、「北陸↓大坂」や、「北陸↓松前」、「北陸↑山陰・瀬戸内」など、商売に応じて行きつ戻りつして航海する船がたくさんいたのではないのでしょうか。

いかがですか?この疑問の正解はわたしも知りません。「ああ、知ってる知ってる。北前船の仕切書」として片つけてしまうと、そこで終わりになってしまうのに、一歩下がって多角的に検討することで、こんなに可能性が広がっていきます。これが「歴史のおもしろさ」だと思います。秋の夜長、ちよつとゆつくりして、歴史を楽しんでみませんか?

(資料課長 濱岡伸也)

毎週水曜日は  
ポイントプラスデー

Meiカード + 3% ポイントプラス

合計 5~11% ポイントに!

Meiカード 通常ポイント

MEITETSU MIZA めいてつ・エムザ

金沢・むさしが辻 TEL代表(076)260-1111  
http://www.meitetsumza.com/  
10時~20時 ●地階レストラン街・書籍は21時まで

行事日程(10~12月)

月日	行事	内容
10/18(金)	れきはくゼミナール	「石動山古絵図」を読み解く (学芸主任 塩崎久代)
11/15(金)	れきはくゼミナール	能登の霊場・高爪山の考古学 (学芸主任 戸潤幹夫)
12/20(金)	れきはくゼミナール	ドジョウ蒲焼一五〇年史 (学芸課長 大門哲)

◎開講時間:午後二時~(約一時間三十分)  
◎会場:石川県立美術館講義室  
◎受講料及び申し込み:いずれも不要  
※駐車場スペースには限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。お問い合わせは、お問い合わせください。

本多の森から

酷暑の中、館内の膨大な資料と備品の移転作業がようやく完了しました。リニューアル工事に関する情報はホームページでも紹介していますので、どうぞご覧ください。